



浜崎小学校便り

浜っ子通信



令和8年9月2日第5号

校長 藤田郁夫

学校教育目標

チャレンジ浜っ子 ～わたしらしくあなたらしく～

2学期スタート

自分のよさを見つけよう もっと自分を好きになろう

1学期を振り返って

1学期は、日々の学習やそれぞれの学年での体験活動等を通して、自分のよさや友達のよさに気づき、互いに認め合い、主体的に行動することでそれぞれの成長につなげることができました。浜崎小の学校教育目標は、「チャレンジ浜っ子～わたしらしくあなたらしく～」。1学期末に、全児童対象に学校教育目標がどのくらい達成できたのかを調べるアンケートを行い、この目標を振り返ってみました。

学校教育目標アンケートの結果

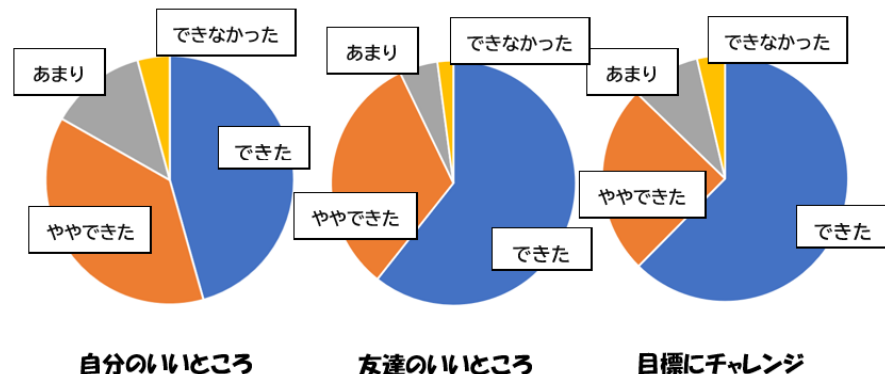
アンケート項目は、次の3つです。

○あなたは、自分のいいところを見つけ、のばすことができましたか？

○あなたは、友達のいいところを見つけ、認めることができましたか？

○あなたは自分の目標にチャレンジすることができましたか？

結果は下のとおりです。児童の自己肯定感や自己有用感の高まりに期待します。



自分を好きになる3つの方法 9/1 始業式 校長講話

始業式では、「2学期は、自分のよさをみつけよう。そして、もっと自分を好きになろう。」と呼びかけました。校長先生が考える、「自分を好きになる3つの方法」とは、……

①人をほめる…人をほめることは、人を大切にすること。相手に思いやりをもって接することで、そんな自分が好きになれます。相手を大切にできる人は、自分も大切にできる人なのです。

②人にたよる…本当に苦しい時には自分一人で抱え込まず、人にたよることも必要です。自分の苦手なことを受け入れ、まわりにたよれる人は人から信頼されます。

③プラスな言葉を使う…「ない」「できない」から、「ある」「できる」に変えてみましょう。ポジティブな言葉を使っていると、自然と「よいところ」を見つけようとしていきます。

自分を好きになる＝自分を大切にすること＝人を大切にすること なのです。



学校教育目標

チャレンジ浜っ子 ～わたしらしくあなたらしく～

不登校支援について

不登校とは

不登校とは年間 30 日以上欠席した児童のうち、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により児童が登校しないあるいはしたくてもできない状況であること（病気や経済的理由を除く）と定義されています。

不登校はどの子にも起こり得るものです。また、不登校の時期が、休養や自分を見つめ直すために必要な場合もあります。お子さんがそのような状況になり不安な時は、一人で抱え込まずにまずは学校に相談してみてください。お子さんにあった支援策について一緒に考えていきましょう。

学校の不登校支援体制

学校では管理職のリーダーシップのもと、学級担任だけでなく、「チーム学校」として、学年、教育相談担当、養護教諭、生活支援員などが連携して対応します。SC（スクールカウンセラー）や SSW（スクールソーシャルワーカー）等の専門家にも相談できます。また、学校以外にも、様々な支援団体、関係機関があり、学校と連携・協力することで一人一人の状況に応じた支援の充実を図っています。

※学校 HP に不登校支援（保護者向け資料）を UP しています。

唐津市内で相談ができる関係機関等 ※相談の際は、よろしければ学校にもお知らせください。

○唐津市青少年支援センター「フレンズ」 旧唐津赤十字病院跡（唐津市ニタ子）

- ・相談部（6才～19才までの児童生徒と保護者対象の電話・面接での相談） 72-9467
- ・適応指導教室「スマイル」（学校復帰への学習支援や心の準備のお手伝い） 73-5202

○スチューデント・サポート・フェイス（SSF） からつサポステ（唐津市町田）

- ・不登校・ひきこもりの児童生徒に対し、訪問による支援や相談を行うNPO法人 53-8420 53-8421
- ・SSFを希望される場合は、まずは学校にご相談をしてください。

○唐津市こども家庭相談室（家庭児童相談） 市役所本庁（唐津市西城内） 53-7181

- ・不登校の児童生徒で、学校が直接本人に会うことができない場合、相談員が家庭訪問を行う。

※ほかにも様々な支援機関があります。詳細は学校HPの「不登校支援（保護者向け資料）」をご覧ください。

Web サイト:

<https://www.education.saga.jp/hp/hamasaki-e/>

連絡先:

0955-56-6116

メール アドレス:

hamasaki-e@education.saga.jp